

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5
Tel: 0266-52-3131 (代表)

<http://www.epson.jp>

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
未払配当金の支払い、 支払明細発行のお問い 合せ先・郵便物送付先*	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむ を得ない事由によって電子公告による公告 をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行う。
公告掲載アドレス	http://www.aspir.co.jp/koukoku/6724/6724.html

*住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。

*なお、特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

EPSON
EXCEED YOUR VISION

セイコーエプソン株式会社

2010年3月期 中間株主通信

2009年4月1日～2009年9月30日



連結財務ハイライト

経営理念

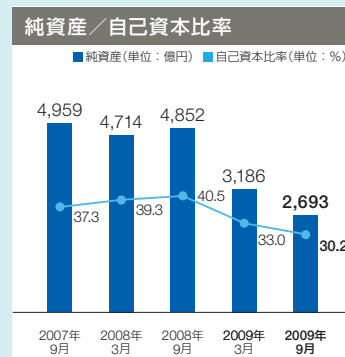
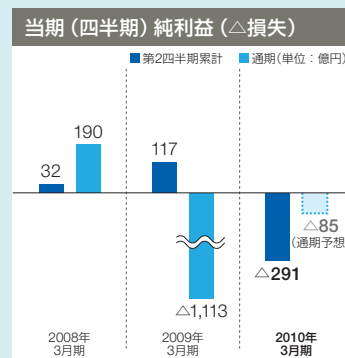
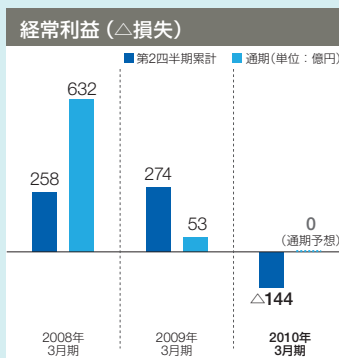
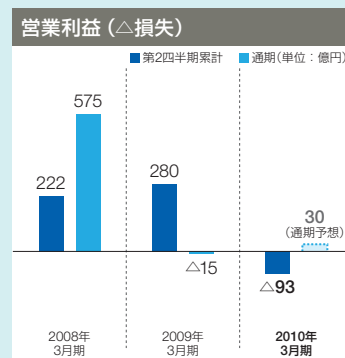
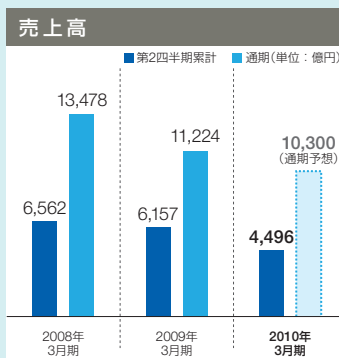
お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

(エプソンは経営理念を世界の14の言語に翻訳し、グループ全体で共有しています。)

目次

連結財務ハイライト	1
株主の皆様へ	2
特集	
インクジェットプリンター新商品のご紹介	3
連結決算の概要	5
当中間期の連結業績について	6
トピックス	9
環境活動への取り組み	9
会社情報 / 株式情報	10

本文中、セイコーエプソングループにつきましては「エプソン」、セイコーエプソン株式会社につきましては「当社」と記載しています。



(注) 1. 2010年3月期通期の売上高および各利益は、2009年10月29日公表の予想金額です。
2. 自己資本は、純資産から少数株主持分を差し引いて算出しています。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに2010年3月期中間株主通信をお届けいたしますので、ご高覧を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期（第2四半期累計）の経済環境を顧みますと、総じて厳しい状況となる中、期間の後半には米国や欧州の景気収縮のテンポが緩やかになったものの、引き続き深刻な状況でありました。アジアでは中国など一部地域において底打ちの動きが見られましたが、日本では厳しい状況が続きました。

こうした経済環境の下、エプソンは、競争力のある商品の投入、効率化による徹底したコストダウンや全組織にわたる経費の削減など、全社を挙げて収益改善策を実施いたしました。

その結果、当中間期の業績は、売上高4,496億29百万円（前年同期比27.0%減）、営業損失93億0百万円（前年同期は280億8百万円の営業利益）、経常損失144億31百万円（前年同期は274億97百万円の経常利益）、四半期純損失は291億87百万円（前年同期は117億20百万円の四半期純利益）となりました。利益水準としては依然厳しい状況にはありますが、収益改善策を鋭意実施することにより、足元での業績は回復基調にあると認識しております。

これらの状況を踏まえ、当期の中間配当につきましては、業績は改善傾向にあるものの、世界経済の先行きが未だ不透明な状況であることから、今後、通期業績見通しの見極めを行ったうえで当期の配当水準を検討することが適当であると判断し、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

エプソンを取り巻く事業環境は引き続き予断を許さない状況にありますが、今後は経済環境の変化の中でも確実に利益を創出し、持続的な成長を実現する事業基盤の再構築に取り組んでまいります。そのために、中期経営計画で成長領域としたプリンター・プロジェクター・水晶デバイスに経営資源を集中し、省・小・精の技術を究め、お客様視点に基づいた付加価値の高い商品・サービスを提供することにより、中長期的に「強い事業の集合体」となることを目指してまいります。これにより、従来の事業領域に加えて、エマージング市場や商業・産業分野などの新たな領域を開拓し、今後の事業成長を図ってまいりたい所存であります。

株主の皆様には今後とも、ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2009年12月

代表取締役社長

碓井 稔



特集 インクジェットプリンター新商品のご紹介

写真は、いつもそばにある存在へ。

写真鑑賞できるプリンター カラリオ ミー新登場



カラリオ ミー E-600

エプソンはお客様や社会にとって「無くてはならない存在になる」という長期ビジョンを描いています。この秋のインクジェットプリンター新商品も「暮らしの中で、無くてはならない」存在になることを目指し、よりお客様との生活密着度を高め、いつでも気軽にお使いいただけることを願って発売いたしました。その中から本誌では、コンパクトフォトプリンターの新商品、カラリオ ミー「E-600」を特集いたします。

写真の楽しみをひろげるフォトスライドショー

E-600は、写真データをデジタルフォトフレームのように観たいときにすぐ鑑賞でき、欲しいときにカンタンにプリントできる新しいコンパクトフォトプリンターです。大画面7.0型カラー液晶を採用。写真をキレイに映し出し、文字は大きく見やすく表示します。また、フォトスライドショーの鑑賞中にプリントしたい写真があれば、リモコンで印刷予約を行うことで、鑑賞を邪魔することなく、後でまとめてプリントができます。



写真を次々と流して楽しめる、フォトスライドショー

見やすい大画面で、カンタンプリント

メニュー画面は項目ごとに色分けされ、文字やイラスト・設定画面も大きく表示されるため、迷わず直感的に操作することができます。メモリーカード内の最新画像9,999枚までの画像を認識でき、日付別・月別ごとの表示や、20面表示でプリントしたい写真をすぐに探せます。また、メモリーカードがなくても、内蔵メモリーに保存された印刷履歴により、再印刷やフォトスライドショーが可能と、さらに使いやすくなりました。

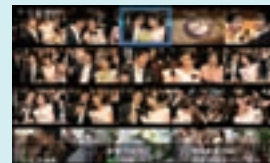
直感的に操作できるメニュー画面



写真検索画面



月別・日付別ごとに表示



20面表示

カンタン操作 3ステップ



1 メモリーカードを入れる

※メモリーカードによっては、専用アダプターが必要です。



2 写真を選ぶ



3 プリント完了



リモコンで
らくらく操作

すべての操作はリモコンひとつで、使わないときは、本体上部に収納できます。

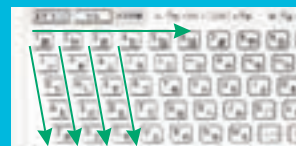


年賀状も季節のごあいさつも。プリンターひとつでカンタンに
カラリオ ミー「E-800」

E-800は、E-600の機能に加えて、ハガキの宛名面・通信面をパソコンを使わずにプリンターだけでカンタンに作成できるモデルです。ローマ字はもちろん、かな入力もワイヤレスの「あいうえおキーボード」で、住所や宛名などの文字入力、宛名面用の住所録作成がカンタンに行えます。また、プリンターに359種類のデザインテンプレートや79種類の定型文などを内蔵し、写真と文字・イラストを組み合わせた年賀状や挨拶状の通信面がカンタンに作成できます。



カラリオ ミー E-800



使いやすい「あいうえおキーボード」

連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

	2010年3月期 第2四半期連結会計期間末 (2009年9月30日現在)	2009年3月期 連結会計年度末 (2009年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,994	6,176
固定資産	2,881	2,996
有形固定資産	2,371	2,537
無形固定資産	180	167
投資その他の資産	329	291
資産合計	8,876	9,173
負債の部		
流動負債	3,297	2,838
固定負債	2,885	3,148
負債合計	6,182	5,987
純資産の部		
株主資本	3,154	3,412
資本金	532	532
資本剰余金	843	795
利益剰余金	1,779	2,085
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	△475	△385
少数株主持分	14	160
純資産合計	2,693	3,186
負債純資産合計	8,876	9,173

(注) 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
△はマイナスを示しています。

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	2010年3月期 第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	2009年3月期 第2四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
売上高	4,496	6,157
売上総利益	1,065	1,735
営業利益または営業損失(△)	△93	280
営業外収益	37	61
営業外費用	88	66
経常利益または経常損失(△)	△144	274
特別利益	4	7
特別損失	64	77
税金等調整前四半期純利益 または税金等調整前四半期純損失(△)	△203	204
四半期純利益 または四半期純損失(△)	△291	117

(注) 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
△はマイナスを示しています。

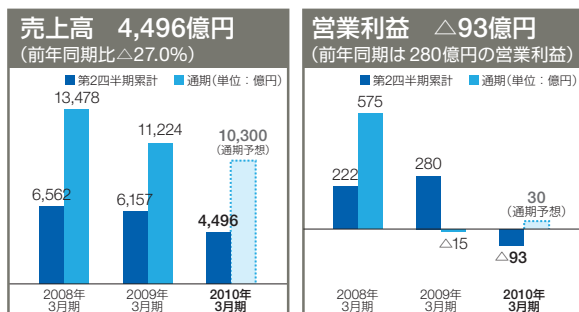
四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	2010年3月期 第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	2009年3月期 第2四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	36	207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー	64	△311
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	30
現金及び現金同等物の増減額	△264	△432
現金及び現金同等物の期首残高	2,843	3,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,578	2,732

(注) 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
△はマイナスを示しています。

当中間期の連結業績について



■ エプソンを取り巻く経済環境

- 世界的な景気後退にともなう個人消費の減退と企業の投資抑制が続きました。
- ただし、足元にかけては中国において政府による景気刺激策の効果が現れるなど、一部で底打ちの動きが見られました。
- 当中間期における為替レートは、米ドルは前年同期比10%円高の95.49円、ユーロは同18%円高の133.15円となりました。

■ エプソンの取り組み

エプソンでは強い事業の集合体となることを目標とした長期ビジョン「SE15」の実現に向けて、次の施策を中心とした中期経営計画に取り組んでいます。

- プリンター、プロジェクター、水晶デバイスの更なる強化・経営資源のシフト
- 中・小型液晶ディスプレイ事業、半導体事業の効率化・より踏み込んだ方向付け

中期経営計画の初年度である2010年3月期においては、事業基盤の再構築によって経常利益ブレイクイーブンを目指してまいります。

■ 当中間期は期初計画を上回る実績を確保

当中間期の売上高・営業利益は前年同期比で減収・減

6～8ページに掲載している

- 売上高構成比は、2009年4月～9月の内部売上高を含めて算出しています。
- 2010年3月期通期の売上高・営業利益は、2009年10月29日公表の予想金額です。

益となりましたが、第1四半期(4月～6月)から第2四半期(7月～9月)にかけては数量増加の効果もあり増収・増益となりました。

また、第1四半期の営業赤字124億円から第2四半期は営業利益31億円へと黒字転換し、当中間期としても期初計画を上回る水準で推移しました。

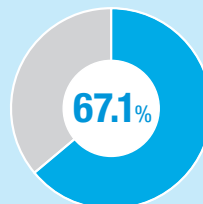
このような状況により、今後の商戦期に向けた手応えを感じる事ができました。

■ 事業の種類別セグメントの概要

情報関連機器事業セグメント

売上高 3,197億円(前年同期比△21.1%)
営業利益 47億円(前年同期比△81.6%)

売上高構成比



■ プリンター事業

インクジェットプリンター、ページプリンター、ドットマトリクスプリンター、大判インクジェットプリンターおよびそれらの消耗品、カラーイメージスキャナー、ミニプリンター、POSシステム関連製品など

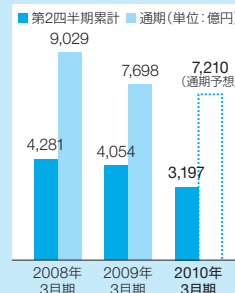
■ 映像機器事業

液晶プロジェクター、液晶モニター、ラベルライターなど

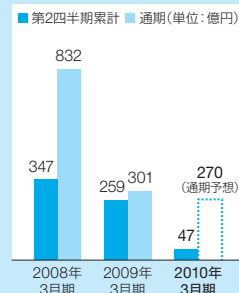
■ その他

PCなど

売上高



営業利益



●景気後退にともなう数量減少や円高の影響により減収となりました。

- インクジェットプリンターは個人消費の減退や企業の投資抑制などにより、個人向け・ビジネス向けともに数量減少。
- ターミナルモジュール、ページプリンター、液晶プロジェクターについても景気後退にともなう投資抑制により数量減少。
- ドットマトリクスプリンターは中国市場で数量増加となったものの、低価格品の増加により価格低下。

●営業利益は減収にともない減益となりました。

●ただし、第2四半期はインクジェットプリンターのプラットフォーム共通化をはじめとするコストダウンや固定費削減に加えて、全社を挙げた費用の徹底的な効率化により、前年同期比で増益となりました。



無線LAN&高画質、リビングに似合うおすすめモデル
マルチフォトカラリオ EP-802A



機能もデザインも進化、6色高画質の高速プリントモデル
カラリオ EP-302



講堂や大会議室で、圧倒的な映像表現力を発揮
オフィリオプロジェクター
EB-Z8050W

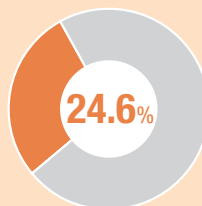


優れた基本性能と使いやすさを追求した、オフィスの標準モデル
オフィリオプロジェクター
EB-W8

電子デバイス事業セグメント

売上高 1,172 億円(前年同期比△37.3%)
営業利益 △92 億円(前年同期は64億円の営業利益)

売上高構成比



■ ディスプレイ事業

中・小型液晶ディスプレイ、液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネルなど

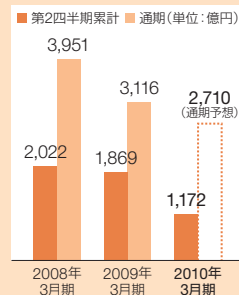
■ 水晶デバイス事業

水晶振動子、水晶発振器、水晶センサー、オフデバイスなど

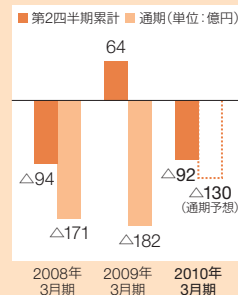
■ 半導体事業

CMOS LSIなど

売上高



営業利益(△損失)



●構造改革にともなう事業の枠組みの見直しや、景気後退による数量減少と円高の影響により、減収となりました。

- 中・小型液晶ディスプレイ事業はスマートフォン向けに数量が増加したものの、事業の枠組みの見直しにともない全体では数量減少。
- 液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネルはプロジェクター市場が低調に推移した影響を受けて数量減少。
- 水晶デバイスはデジタルカメラやゲーム機向けに高

精度な水晶センサーの販売数量が増加したものの、商品構成の変化や円高の影響により価格低下。

- 半導体事業は数量減少と円高による影響。

- 営業利益は減収にともない減益となりました。
- ただし、前年度における事業構造改善費用および減損損失の計上にともなく減価償却費の減少による固定費削減や稼働率の向上などにより、第1四半期から第2四半期にかけては採算が改善しました。



電子ビューファインダー向け超小型・高精細高温ポリシリコンTFTカラー液晶パネル



液体圧力を直接計測できる高精度水晶圧力センサー
XP-7000シリーズ



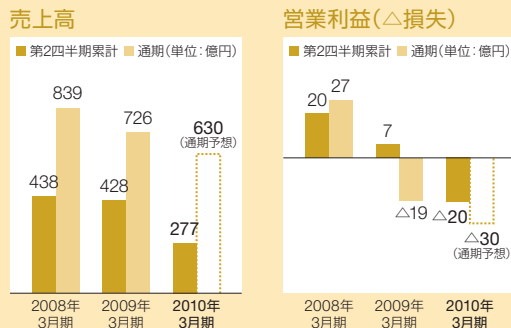
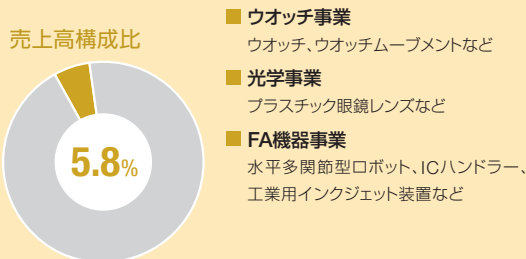
車載向け、高温動作の小型32.768kHz水晶振動子
FC-13A



電子書籍に最適なE Ink専用電子ペーパーコントローラーIC
S1D13522

精密機器事業セグメント

売上高 277億円(前年同期比△35.2%)
営業利益 △20億円(前年同期は7億円の営業利益)



- 個人消費の停滞によるウォッチの販売数量減少や、企業の投資抑制によるICハンドラーおよびロボットの販売数量減少により、減収となりました。
- 営業利益は減収にともない減益となりました。



ミニスカラロボット
G1シリーズ



コンパクト6軸ロボット
C3シリーズ

トピックス

第3回 ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞を受賞



当社社員、中澤義房が、経済産業省主催の最高位の賞となる「第3回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞」を受賞しました。

ものづくり日本大賞は、日本の産業・文化の発展を支え、さらに発展させていくため、「ものづくり」に携わっている人材のうち、特に優秀と認められた人材に授与されます。中澤は、熟練技能を要する超複雑機構時計の組立・調整に従事しており、組立て調整師として国内外から高い評価を受けております。ものづくりに携わる熟練の“技”の功績が讃えられ、今回の受賞に至りました。



ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスに 2年連続で採用される



当社は、代表的な社会的責任投資 (Social Responsible Investment: SRI) の指標である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス: DJSI World」の構成銘柄に2年連続で採用されました。

DJSI Worldは全世界の企業を対象に、経済・環境・社会性の3側面から評価して「持続的成長」が見込まれる企業を選定しています。また、この指標は世界のSRIファンドの銘柄に大きな影響を与えることで知られています。

2009年は世界の約2500社の対象企業の中から、当社を含め317社 (うち日本企業32社) がリーディングカンパニーとして構成銘柄に採用されました。

当社は今後も、経営理念に謳われる「信頼経営」を実践することで、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

環境活動への取り組み

地球のために、子供たちのために、 未来に向けたあるべき姿を実現する

1988年、エプソンは世界に先駆けてフロンレス活動を開始しました。同年を「環境元年」とし、その後も先進的な環境活動を積み重ねてきましたが、急速に深刻化する地球環境問題に対し、これまでの延長線上での活動ではなく、必要な姿、あるべき姿を確認し、達成すべき目標として取り組むための長期的指針が必要であると考えました。

そこで2008年、2050年までにCO₂排出10分の1を目指すという「環境ビジョン2050」を発表しました。2009年は、これらを実現するために、2015年度におけるエプソンのありたい姿をイメージした長期ビジョン「SE15」の中で、「環境価値の実現」を新たな成長軸の一つとして位置付け、「省・小・精の技術を基盤として、商品・サービス、生産、販売すべてを通じ、環境への負荷低減をお客様にとっての価値として提供すること」と決めました。

環境ビジョン2050

エプソンは、地球の環境負荷許容量を認識し、世界の誰もがその許容量を等しく分け合うものと考え、2050年に向けて“商品とサービス”のライフサイクルにわたるCO₂排出を10分の1にすることを目指します。あわせて、生態系の一員として、地域社会とともに生物多様性の修復と保全を行います。

会社情報／株式情報 (2009年9月30日現在)

- **本社** 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号
TEL: 0266-52-3131 (代表)
- **本店** 〒163-0811 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号
新宿NSビル
TEL: 03-3348-8531 (代表)
- **資本金** 532億4百万円
- **創立** 1942年5月18日
- **従業員数** 連結: 78,376 人 単体: 13,194 人

■ エプソングループ会社数 106社 (当社を含む)

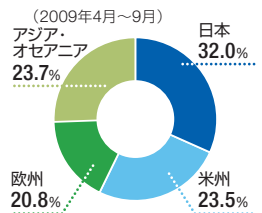
● 国内関係会社

エプソン販売株式会社 オリエント時計株式会社
エプソンドIRECT株式会社 東北エプソン株式会社
エプソントヨコム株式会社 エプソンイメージングデバイス株式会社
他 19社

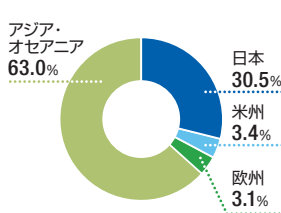
● 海外関係会社

U.S.Epson, Inc. (地域統括)
Epson Europe B.V. (地域統括)
Epson (China) Co., Ltd. (地域統括)
Epson Singapore Pte. Ltd. (地域販売統括)
Epson America, Inc. (販売)
Epson France S.A. (販売)
Suzhou Epson Co., Ltd. (製造)
Epson Precision (Hong Kong) Ltd. (製造)
P.T. Indonesia Epson Industry (製造)
Singapore Epson Industrial Pte. Ltd. (製造)
他 70社

■ 仕向地域別売上高の割合



■ 所在地別従業員数の割合



■ 役員

取締役ならびに監査役		業務執行役員	
取締役会長 (代表取締役)	花岡 清二	業務執行役員常務	小松 宏 John Lang
取締役副会長	服部 靖夫		上柳 雅誉
取締役社長 (代表取締役)	碓井 稔	業務執行役員	濱 典幸 有賀 修二 牛島 升 伊藤 一紀 宮澤 要 森 昭雄 小池 清文 宮川 隆平 遠藤 鋼一 福島 米春
専務取締役	両角 正幸		
常務取締役	矢島 虎雄 久保田 健二 平野 精一 小口 徹		
取締役	酒井 明彦 羽片 忠明		
常勤監査役	真道 昌良 内田 健治		
監査役	山本 恵朗 石川 達紘 宮原 賢次		

■ 株式の状況

発行可能株式総数	607,458,368 株
発行済株式総数	199,817,389 株
株主の総数	41,436 人

■ 大株主の状況

株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
青山企業株式会社	20,718	10.36
三光起業株式会社	14,288	7.15
セイコーホールディングス株式会社	7,948	3.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,464	3.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,292	3.64
服部 靖夫	7,152	3.57
服部 禮次郎	7,060	3.53

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てています。
2. 所有比率は小数点以下第3位を切り捨てています。